



秋のイベントフォトレポート②

# 万田坑フェスタ 2019

1\_リグラスアートを楽しむ参加者 2\_万田坑こどもガイド 3\_地元特産品などいろいろな「食」も楽しめました 4\_会場にはたくさん笑顔が 5\_お笑い芸人ハマカーン 6\_「あらお観光大使」関島秀樹さん 7\_万田坑デジタル掛軸 2019 8,9\_さまざまなステージイベントが会場を盛り上げました



11月3日、世界文化遺産の万田坑を会場に「万田坑フェスタ2019」を開催し、約1万2千人が来場しました。荒尾太鼓による迫力の演奏で幕を開けたステージイベント。ハマカーン、もっこすファイヤーの人気お笑い芸人2組は会場全体を笑いの渦に包み、「あらお観光大使」の歌手関島秀樹さんは、語りかけるような優しい歌声で観客を魅了していました。他にもみやじま幼稚園、肥後荒尾さのよい踊り子隊、炭坑ガールズなど、地元からも多数出演。会場を盛り上げていました。フィールドイベント会場では、万田坑探検隊、昔遊び体験、リグラスアートなどの体験型イベントを親子で楽しむ人の姿が多くありました。また、「万田坑デジタル掛軸2019」、「炭鉱の祭典」も同時開催し、多くの人でにぎわっていました。



写真上下：境内には七五三の参拝に多くの家族連れの姿がありました。

秋のイベントフォトレポート①

# のばらさん

## 野原八幡宮秋季例大祭



祭り当日の朝、市役所での祝い唄の披露もありました

「ヘーロイ、ヘーロイ」との掛け声も勇ましく、稚児を乗せた神馬を引き連れて神幸する男たち。境内には力強く高らかに歌い上げられた祝い唄が響き渡ります。歌や笛に合わせて小太鼓と大太鼓を打ちながらゆったりと舞う、獅子頭に見立てた笠を付けた2人の少年。境内を埋めつくす観衆は、この二つの芸能にじっと見入っていました。これは、10月15日に開催された野原八幡宮の秋季例大祭（通称・のばらさん）の一幕です。前者は、市指定無形民俗文化財である「節頭」、後者は、国選択無形民俗文化財である「風流」という民俗芸能であり、共に約770年の長きにわたりこの地に受け継がれ、同宮へと奉納されてきました。旧荒尾郷の一月早い七五三としても親しまれている同祭。鮮やかな着物、凛々しい袴に身を包んだ子どもたちが親族と参拝する姿も多くありました。



ふうりゅう 風流



せつとう 節頭

